

STATEMENTS 2111 2018



行動するシンクタンク
一般財団法人 下関21世紀協会
Shimonoseki 21st Century Association

思索の人として行動し、行動の人として思索せよ
アンリ・ベルクソン (Henri Bergson) [1859～1941] フランスの哲学者

私のなかの下関

一般財団法人下関21世紀協会 会員 原谷 康弘



海峡花火大会あるかぼーと会場

“ふるさと納税、をしたことはありますか。まだ利用したことがない人が多いように感じますが、興味を持ってもらうために一言でまとめるなら「2,000円で全国各地の特産品がもらえる」といったところでしょうか。2008年に個人住民税の寄附金税制の拡充により創設された制度ですが当初は確定申告の必要もあり3万人ほどしか制度を利用していませんでした。2015年度から確定申告を必要としない特例制度がようやく導入されると130万人ほどまで増え、各自治体も地場特産品を中心とした返礼品に力を入れ始め2018年度のそれは295万人に達しています。

下関のふるさと納税返礼品はふぐ、うに、くじら、あんこう等の“下関ブランド、が中心になっていますが他の自治体の返礼品を探すと町の取り組みも覗けて少しその町がわかるような気がします。

私は以前1年間と限られた時間でしたが地方創生について取り組み、あるかぼーとをグランピング(※注1)会場とし下関ブランドを食す短期プランを考えました。当然、より多くの人が町のことを考え知恵を絞らだしたらもっと素晴らしいプランができたでしょう。ちなみにその際に意見交換をした大手企業のリゾート開発チームは「下関は海外旅行者目線でアクセスは非常に良い」と評価していました。驚きです。いろいろな角度からみると新しい下関を発見することもできます。

11月から市役所ホームページに下関港ウォーターフロント開発に係るホテル事業者の公募が掲示されました。関門海峡花火大会のメイン会場周辺の開発計画のため動向がきになるところです。今年は自然災害の影響もあり全国的に多くの

花火大会が中止になりました。安全対策を含め様々な要因により花火大会の継続が困難になりつつあります。しかし何としてもここは継続させたい。

私は神戸出身の転勤族です。30年ほど前に中学校の修学旅行で下関を訪れマリンホテルに宿泊したことがあります。翌日には壇之浦パーキングで集合写真を撮り、初めて関門海峡を渡って九州に入りました。壮大なスケールに感動した記憶はすぐに蘇ります。30年経ってこの地で勤務することになり縁あって協会に入り活動するたびに感慨深い気持ちになります。協会の活動方針に「ひとの想いを結集し、まちの輝き、まちの幸せを創出するために」とあります。私もいつか異動となり下関を離れることとなりますが、自分自身が下関に戻りたいと想えるようにまちづくり活動に努めていきたいと思えます。

(※注1)グランピング…グラマラス(魅惑的な)とキャンピングを掛け合わせた造語で、テント設営や食事の準備などの煩わしさから旅行者を解放した「良い所取りの自然体験」に与えられた名称



あるかぼーと 開発イメージ図(下関市HPより)